

# 設楽発掘通信

No.35  
平成30年  
3月号

## 成果報告会 「新設楽発見伝4」を開催しました

平成二十九年年度の設楽ダム関連の遺跡発掘調査は、この二月に無事に終了しました。この結果、大畑遺跡とマサノ沢遺跡では、縄文時代を中心に多数の遺構や遺物が発見されました。また、平成二十六年年度と二十八年年度に調査しました西地・東地遺跡の整理・報告書作成業務も弥富（センター本部）で行い、多くの知見が得られています。

去る三月三日に、これらのさまざまな調査成果を紹介する成果報告会「新設楽発見伝4」を開催しましたところ、百三十名の方々にご参加いただきました。今回の報告では、愛知県下では初めて発見された遺構や遺物が多く、参加者の皆さんは熱心に話を聞き、遺物を見学されました。大畑遺跡では縄文時代の竪穴建物が見つかり、県内では例の少ない円形の石囲炉を持つものが一基、また、方形の石囲炉に小さな副炉が付属するもの一基が愛知県下では初めての事例となりました。マサノ沢遺跡では縄文時代後期のハート形土偶と呼ばれる土偶の胴部が一点発見され、これは東海地方では初めての事例です。また、岩偶・岩版類が一つの穴（土坑）から三個出土する事例は全国的にも珍しいものとなりました。縄文時代後期の石棺墓・配石墓も愛知県下では初めての事例です。

また、今回の成果報告会「新設楽発見伝4」では、新しい試みとして大名倉地区の縄文時代の遺跡について平野吾郎先生の講演会と座談会を行いました。その結果、設楽町での考古学調査の歴史の古さを改めて認識させられるとともに、今後もしっかりと調査と研究を進めなくてはいけないと心を新たに思いました。

この成果報告会をもちまして今年度の設楽ダム関連の遺跡発掘調査は全て終了しました。皆様のご理解とご協力により事業を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も引き続き発掘調査を行う予定です。これまで以上に協力をお願い申し上げます。

（愛知県埋蔵文化財センター 鈴木正貴）



会場の設楽町立田口特産物振興センター



出土遺物の展示



講演の様子

### 大畑遺跡の発掘調査成果紹介



大畑遺跡遠景（北から）

左側に設楽大橋が見え、その下を流れる境川と右側から流れ下る戸神川に囲まれた丘陵上に大畑遺跡は立地します。



竪穴建物跡 300SI の石囲炉（東から）

平らな礫を 28 個据えた縄文時代中期後半（約 4500 年前）の炉で、豊田市のヒロノ遺跡や諏訪地域に検出例があります。



竪穴建物跡 065SI の石囲炉（東から）

副炉と呼ばれる付属施設（右下）と左下隅に磨石が据えられているのが特徴です。長野県の南信地域に検出例があります。



陥し穴 230SK の断面（南から）

穴の底にはかかった動物を動けなくするための杭を立てた小穴がありました。縄文時代の遺構と考えています。



竪穴建物跡 420SI 他（東から）

深さも形もさまざまな竪穴建物跡が 5 棟重なって検出されました。きっとこの場所に建てるのが重要だったのでしょう。



竪穴建物跡 362SI（東から）

石囲炉と柱穴が 2 組あることから建て替えが行われたと考えられます。時期は縄文時代中期後半と考えられます。

### マサノ沢遺跡の発掘調査成果紹介



マサノ沢遺跡遠景（南西から）

写真の左側に境川が流れ、遺跡は境川の左岸にある細長い河岸段丘上の標高 405 ~ 400m に位置します。



土器棺墓 186SK

深鉢を正位（右側）と倒立（左側）に並べて配置された縄文時代晩期後葉（約 3000 年前）のお墓。



大型土坑 094SX

土坑の下位に、平石を長方形に並べた棺が二ヶ所。人を埋葬した縄文時代後期（約 4000 年前）のお墓です。



土器棺墓 427SK

底を打ち欠いた深鉢に、底板用と上蓋用の深鉢を置いた弥生時代前期（約 2500 年前）の土器棺墓。



配石墓 190SK

大型土坑の中に設置された配石墓 094SX は、190 × 50cm の大きさで、平石を棺のように並べたお墓です。



土器棺墓（143SK）

二つの深鉢を口の部分を合わせた弥生時代前期（約 2500 年前）の土器棺墓。

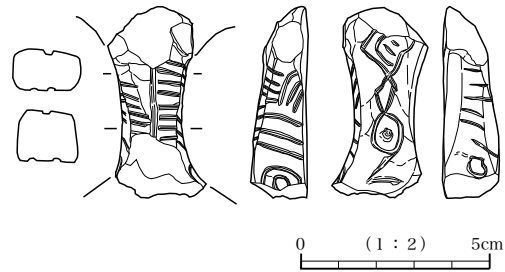
マサノ沢遺跡出土の土偶<sup>どぐろ</sup>



土偶裏面



土偶表面



土偶実測図 (S=1/2)



土偶出土状況

今回出土した土偶は、胴部の形と表側の文様の特徴などから、ハート形土偶と考えられます。ハート形土偶とは、頭部がハートの形をしていることから呼ばれています。縄文時代後期前半（約四千年前）の東北地方南部から北関東を中心に見つかっています。愛知県内はもちろん、東海地域で初めて確認されました。遠隔地の交流を考える上で重要な発見となりました。

(愛知県埋蔵文化財センター 永井<sup>ながい</sup>宏幸<sup>ひろゆき</sup>)

設楽発掘通信

No.35

平成30年3月号

編集・発行

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24

電話 (0567)67-4161【管理課】 4163【調査課】

ホームページ <http://www.maibun.com>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

Twitter [https://twitter.com/aichi\\_maibun](https://twitter.com/aichi_maibun)



印刷・協力

株式会社二友組